

## Asflora 植樹ニュース (2009年4月11日)

4月10日～12日はキリスト受難と復活の聖なる週、町から人が少なくなる静かな3連休です。この間は、教会以外でお祭りはないのですが、11日(土)に植樹祭をしました。和同流空手、鈴木武夫八段のもとに50人の人たちが集まり、当地ベレンの海軍学校で3泊4日の合宿中で、その人たちが植樹祭に参加しました。

鈴木さんは、大学の先輩で、71歳、リスボン在住の東洋医、お灸で私の高血圧症を治してくれた人です。地元の人に合宿参加者は居ませんが、南伯各地とエクアドール、ポルトガル、それに日本からも参加していました。

会場は、前2回に続けて、Aimex 種苗センター内です。キリスト受難の週(連休)は、動く事故などあって危ないと思う人も多く、子供集めと森の劇団員集めには苦労しています。予定していた学校は直前にキャンセルでしたが、Asflora が今関係している近くの開拓部落から、子供たち20人が来てくれました。他に、伯国農大会北伯分会役員3名、アマパ州 JICA プロジェクトリーダーの渡邊氏、Asflora 活動を卒論題材にしてくれた Sandra、Asflora 役員たちの Tácia、André、Tamy(娘です)も参加しました。



苗畑の見学の後、森から Duende(森の小人)が出てきて、魔法の森へと招待しています。



樵と老木的一幕、細い木を切ろうとする樵に、「老木」、「自然の母」、「クルビーラ(森護りの妖怪)」が叱ります。樵は、森から木材を持続可能に得ることを教えられます。



木の種をみんなで拾って発芽させる一幕、みんな初参加。めでたく生まれた木の赤ちゃん



森の劇に続いて、植樹です。今回の植樹地、3月の植樹地に隣接しています。クマルー(種から香水原料が採れる)、フレイジョ(木目の美しい家具材となる)、ジェニバッポ(インジオが顔料を取る木)、ジャトバ(建築材、種子は利尿剤)、マホガニーその他を 600 本植えました。



開拓地の Joelma さん、入植地の子供たちを連れてきてくれました。



第 27 回 Dojinmon(同仁門?)合宿記念、アマゾン日本移民 80 年記念植樹の看板。 今回の植樹祭はフジテレビと(株)メルカード東京農大、Dojinmon のご寄附で賄いました。ご支援を謝して、看板にそれぞれのロゴマークを入れています。

農大の旗の左端が鈴木氏、その右が同期生の山中氏、続いて福島氏、加味根氏、佐藤、アマパ州から参加の JICA プロジェクトリーダー渡邊氏(右端)



合宿グループから Ovo de Pasocoa(復活祭のチョコレート卵)を貰いました。この子たちの家、まだ電気が来て

いません。

Dojinmon 合宿に参加している人たち、初めてアマゾン地域に来た人が殆どなのですが、Asflora 森の劇、植樹をすっかり気に入ってくれました。地元で、ぜひ、こうした植樹祭をしてみたいと、もうその気になってくれた人がいます。 ありがとうございます。

2009 年 4 月 11 日

*Takushi Sato*

ASFLORA Instituto Amigos da Floresta Amazônica

NGO アマゾン森林友の協会